

平成19年度関東ブロック会議開催される

朝の息も白くなり、本格的な冬の到来が始まった、平成19年12月1日、宇都宮市の「ホテル ニューイタヤ」において、栃木県が本部理事担当県となり2回目となる平成19年度の関東ブロック会議を開催いたしました。

当日は、同窓会本部から、紫野同窓会長を来賓にお迎えし、今年新任の埼玉県藤澤支部長をはじめとする全支部参加のもと、午後1時から小野口 勝巳栃木県支部長（昭和40年卒）の挨拶で開催しました。恒例により幹事県の支部長を議長として議事に移り、まず議長自ら平成19年度の本部同窓会理事会の報告を行い、同窓会の現状について説明を行いました。

次に各支部の活動状況について報告をいただきました。群馬県、千葉県から大学祭で地元特産物を新しいキャンパスで学生気分に戻って楽しんで販売し、盛況であったとの報告があり、来年度もさらに盛大に開催されるのではとの期待が高まりました。

しかし、各支部の運営については、各支部とも会員の確保、会員からの会費の納入及び総会への出席者の減少などが問題となっており、獣医だけでない全ての学部との連携と連携のための支部の体制作りなどが必要であり、今後の支部運営において変革が必要であると感じました。

また、さらに、本部会費の納入方法、学校法人評議員の選出方法など群馬県泉支部長を中心に長めに確保した会議時間も忘れるほど白熱した議論が行われました。

その後、会場を懇親会場に移し、紫野同窓会長から大学の近況について、入試状況、早期の受験者の掘り起こし、各支部の定期総会への職員の派遣など今後の地方支部同窓会の役割と運営の参考となる内容について説明をいただきました。

説明終了後に懇親会が開かれ、懇親会ではさらに各支部のお話をうかがうことができ、今後の支部運営の参考となり、会議とともに非常に有意義なものとなりました。

昨年に続き、議論、講演時間の設定が甘く、参加者の皆様にご迷惑をおかけしたと反省するとともに、改めて幹事県の難しさを痛感しました。

終わりに、麻布大学同窓会の今後益々発展することをお祈りいたしまして、平成19年度関東ブロック会議の報告といたします。

(栃木県支部 事務局)

